

平成27年度

# 環境活動レポート



対象期間 : 平成27年4月～平成28年3月

発行年月日 : 平成28年5月25日

株式会社 理水興業

・表紙	1
・もくじ	2
1 挨拶	3
2 環境方針	3
3 事業概要&認証登録範囲	4
4 実施体制	5
5 環境目標	6
6 環境活動計画	7
7 環境目標の実績	8~9
8 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度以降の取組内容	10
9 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無	11
10 代表者による全体評価と見直し結果	11
11 情報公開事項	12
12 処理方法・処理工程	13
13 受託廃棄物処理及び収集運搬量	14
14 汚泥リサイクルセンター産業廃棄物の処理工程	15
15 産業廃棄物処分及び運搬許可一覧	16

## 1 挨拶

当社の理水興業という社名から、生活環境の原点である水資源を大切に  
する事に重点を置き、汚染された水をもう一度環境に適した資源になる  
べく、あらゆる環境保全に取り組みます。  
また、社会貢献への取り組みと共に東日本大震災への復興にも積極的に  
参加し、地域住民の一員として環境対策に惜しみなく力を注ぐ企業を  
目指していきたいと考えております。

代表取締役社長  
今野 秀實

## 2 環境方針

### 《環境理念》

株式会社理水興業は『永遠に美しい地球』をテーマに企業の存立基盤  
を確保しつつ、地域社会の一員として環境対策に積極的に取り組み、次  
世代へ、より美しい自然環境を引き継ぐために努力し身近な環境の保全  
を基軸に地域社会に貢献し、共に繁栄する企業を目指します。

### 《環境保全への行動指針》

- 1 当社が行う事業活動の環境に与える影響を正確に捉え、環境への  
負荷を低減し環境の保全活動に努めます。
  - (1) 二酸化炭素排出の削減
  - (2) ゴミの分別・削減
  - (3) 生活排水の軽減・節水
- 2 車両運行ルート効率化とエコドライブを実践し省エネと排ガス抑制、  
廃棄物の再資源化に取り組み、リサイクル率を向上させます。
- 3 環境に関する知識の向上を図り普及・啓蒙と環境保全の高揚に努め、  
グリーン購入を推進します。
- 4 現場における再資源化を考慮し、計画・設計時から廃棄物の削減をし効  
率的な施工方法で省資源・省エネルギーを推進します。
- 5 地域・社会貢献活動の推進に努めます。
- 6 事業活動に関連する法規制を遵守します。
- 7 全社員及び協力会社従業員にこの環境方針を周知徹底し、理解と意識の  
向上に努め、地域に密着した企業活動を行い活動結果を公表します。

制定日：平成26年1月4日

株式会社 理水興業  
代表取締役社長  
今野 秀實

### 3 事業概要&認証登録範囲

1 名称及び代表者名

株式会社 理水興業  
代表取締役社長 今野 秀實

2 所在地

本社 岩手県花巻市星が丘2丁目16番12号  
水環事業部 岩手県花巻市中北万丁目97番地  
汚泥リサイクルセンター 岩手県北上市口内町松越134番地1  
ペットサロン事業部 岩手県花巻市星が丘2丁目17-16

3 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 環境事業部 部長 高橋 満 TEL: 0198-23-5395  
担当者 営業推進課長補佐 主濱 睦 TEL: 0198-23-5395

4 事業活動の内容

1. メンテナンス部門

汚水処理施設(浄化槽含)の維持管理、清掃  
許可番号 浄化槽保守点検業 岩手県27(登)中第5号 H28.1.7~H31.1.6  
盛岡市 27-12 H28.1.7~H31.1.6  
浄化槽清掃業 花巻市第334-2号 H28.4.1~H30.3.31

2. 環境事業部門

(1) 産業廃棄物(特別管理産業廃棄物含)の収集・運搬(積替保管含む)、  
中間処理(汚泥)・処理  
(2) 一般廃棄物収集運搬業  
(3) 貯水槽・油タンク等の清掃・管理、各種配管の洗浄・更生  
許可番号 別途記載(P11参照)

3. 工事部門

(1) 管工事 給排水・衛生・空調・消防設備・浄化槽等の設計・施工  
(2) 土木工事 水道本管・舗装・下水関連等  
(3) その他の工事 電気工事等  
許可番号 特定建設業  
岩手県知事(特-24)第4479号 H24.8.27~H29.8.26  
一般建設業  
岩手県知事(般-24)第4479号 H24.8.27~H29.8.26  
排水設備工事指定 花巻市 H25.4.1~H30.3.31  
大船渡市 H25.4.1~H30.3.31  
紫波町 H25.4.1~H30.3.31  
北上市 H25.4.1~H30.3.31

4. ペットサロン部門

・動物の小売り及び卸売り並びにそれらを目的とした繁殖または輸出入を行う業務  
(その取り次ぎまたは代理を含む)  
・保管を目的に顧客の動物を預かる業務

5 主要売上 平成27年度  
13億

項目	本社	水環事業部	リサイクルセンター	ペットサロン事業部
従業員	63	4	3	2
延べ床面積	646.82	131.36	41.62	81.01

6 認証登録範囲

全組織・全事業活動が認証登録範囲

7 営業範囲

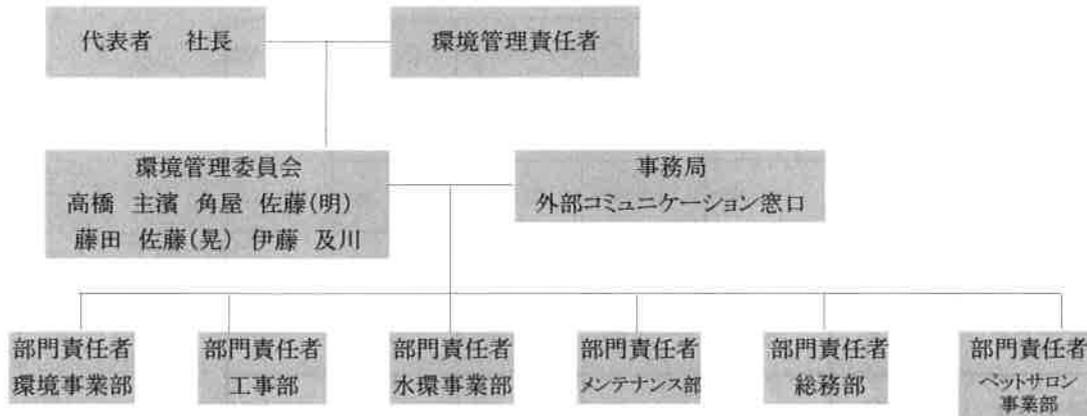
県内一円

8 社歴

昭和35年4月 浄化槽の管理(メンテナンス)・清掃を目的として創業  
昭和47年9月 浄化槽の管理・清掃を主要業務として、有限会社ロクサン衛生社を設立。  
昭和48年3月 有限会社花巻浄化槽センターへ商号変更  
昭和53年8月 貯水槽清掃・産業廃棄物の収集運搬・処分、管工事等を追加  
昭和56年11月 有限会社理水興業へ商号変更  
昭和62年9月 産業廃棄物収集運搬業許可(岩手県)取得、業務開始  
平成5年7月 特別管理産業廃棄物収集運搬業許可(岩手県)取得、業務開始  
平成6年10月 株式会社理水興業へ組織変更  
平成8年4月 産業廃棄物処分業許可(岩手県)取得、  
移動脱水車による汚泥の中間処理業務開始  
平成11年3月 特定建設業許可取得(特-10)4479号管工事業  
平成22年3月 北上市口内町松越に汚泥リサイクルセンター  
(汚泥中間処理施設)竣工・操業開始

## 4 実施体制

### 1 組織



### 2 役割・責任・権限

役職	役割・責任・権限
代表者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営に関する統括責任。</li> <li>・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備。</li> <li>・環境管理責任者を任命。</li> <li>・報告を受け全体の評価と見直しを行う。</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代表者に代わり、環境経営システムの構築、実施、管理を行う。</li> <li>・環境活動実績の確認、評価。</li> <li>・環境活動の取組結果を代表者へ報告。</li> <li>・環境活動レポートを確認。</li> </ul>
環境管理委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員長は社長とし、環境管理責任者が召集する。</li> <li>・環境管理責任者の提案を審議し、決定事項を部門責任者は各部門で実施する。</li> <li>・環境活動レポートの作成、公開。</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境管理責任者の補佐。</li> <li>・環境関連の外部コミュニケーションの窓口。</li> </ul>
部門責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当部門について環境経営システムを実施し、維持する。</li> <li>・省資源、省エネ、節水等の奨励・実施・確認・是正。</li> <li>・従業員に対する教育訓練の実施。</li> </ul>
全社員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚し、能力向上に努める。</li> <li>・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。</li> </ul>

## 5 環境目標

### 1 主な環境負荷の実績

#### 主な環境負荷等の実績

項目	単位	平成23年度	平成24年度 (基準年)	平成25年度	平成26年度	平成27年度
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub> /年	673,523	685,070	713,010	695,028	726,542
購入電力使用量	kwh	182,496	179,608	177,576	179,423	196,573
受託産業廃棄物 (収集運搬)	t/年	12,488	7,160	6,083	18,031	20,210
受託産業廃棄物 (中間処理)	m <sup>3</sup> /年	5,172	4,670	6,988	4,525	7,179
産業廃棄物排出量	t/年	734	799	1,567	531	1,022
一般廃棄物排出量	kg/年	28,040	37,110	32,727	13,680	12,639
総排水量(水資源投入量)	m <sup>3</sup> /年	4,791	5,686	5,414	5,618	6,796

※購入電力の二酸化炭素排はH25（東北電力）の実排出係数 0.6kg-CO<sub>2</sub>/kwhを使用。

### 2 環境目標の設定

当社では、平成24年度を基準年度として中期及び単年度の環境目標を、それぞれ表2のとおり設定し、環境活動に取り組んでおります。

表2 環境目標

基準年度(平成24年度)比の削減(増加)率(%)

項目	基準年度実績値		中期目標(内単年度目標)			
	実績値	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
二酸化炭素排出量	685,070	kg-CO <sub>2</sub>	1%削減	2%削減	3%削減	3%削減
購入電力使用量	179,608	kwh	1%削減	2%削減	3%削減	3%削減
産業廃棄物排出量	799	t	1%削減	2%削減	3%削減	3%削減
一般廃棄物排出量	37,110	kg	1%削減	2%削減	3%削減	3%削減
総排水量 (水資源投入量)	5,686	m <sup>3</sup>	1%削減	2%削減	3%削減	3%削減
グリーン購入	グリーン製品を積極的に購入する。					
環境配慮製品の販売	環境にやさしい設備機器を積極的に採用する。					
社員教育	2回		2回	3回	3回	3回
その他(地域貢献)	2回		2回	2回	3回	3回

## 6 環境活動計画

当社では、環境方針に基づき二酸化炭素、廃棄物、水使用量を削減し、環境目標を達成するため、従業員が一人となって省エネルギー、廃棄物の削減・リサイクル及び節水等に取り組んでおります。今年度から、取組の実施状況の評価結果は、表3のとおりです。

表3 主な環境活動計画の内容と取組結果

項目	取組内容	総務	事業所	現場	備考	
二酸化炭素排出量の抑制	照明	①昼休みなど、部屋を使用していない時は、照明消灯を確実に実行する	○	○	○	
		②会議室、給湯室、社員用トイレ、倉庫、更衣室等不必要な時は、消灯している。	○	○	○	
		③事務室の部分照明を実行する。	○	○	○	
		④照明器具については、定期的な清掃、交換を行う等、適正に管理している。	○	△	△	
	冷暖房	①冷暖房の温度（冷房25℃、暖房23℃）を順守する。	△	△	△	建物自体が古く、部分的に室温に高低差がでてしまい、設定温度の徹底がむずかしい。
		②空調を必要な区域・時間帯に限定する。	△	○	○	
		③使用していない部屋は、空調を停止している	○	○	○	
		④ドアの開け放しはしない。	○	○	○	
	節電	①昼休みなど、休憩時、不必要な個所は消灯する。パソコンの電源は切る。	○	○	○	
		②残業の時は、必要な個所のみ点灯し、業務に必要なない箇所は消灯する。	△	△	×	部分照明ができていない。
		③退社時は、OA機器の待機電源は切る。	○	○	○	
		④パソコン等のOA機器や照明器具などの省エネルギー型への切り替えに取り組んでいる。	○	○	○	
	車輛 その他	①車両のアイドリングストップを実践する。	/	×	×	個々の意識の低さが結果として出ている
		②急発進・急加速はしない。	/	×	×	#
		③冷暖房の控えめ使用	/	×	×	#
		④タイヤの空気圧は、適正値を保つよう定期的に調整する。	/	○	○	
		⑤建設機械等の運転を停止する際は、エンジンを停止する。	/	○	○	
		⑥建設機械等をリースする際は省エネルギーの機種を優先的に選定・リースする	/	○	○	
		⑦最大積載量に見合った輸送単位の設定を行う。	/	○	○	
	廃棄物の排出抑制	一般 廃棄物	①書類の内容やレイアウトを見直し、枚数を少なくする	○	×	×
②同じ内容の資料や書類の写しは1冊にまとめ、複数人で利用する			○	△	△	
③帳簿見直しによる印刷物の削減			○	/	/	
④使用済コピー用紙、段ボール、雑誌、新聞紙等は、所定の場所に分別保管する。			○	○	○	
⑤分別した紙ごみは、再生資源業者に引き渡し、リサイクルする。			○	○	○	
⑥文書の共有により、不要な印刷物を削減する			×	×	×	個々での管理しているため、部数が多くなる傾向がある
⑦紙・金属缶等は、所定の保管容器に確実に分別する。			○	○	○	
⑧コピー機のトナーカートリッジの回収、リサイクルを推進する。			○	○	○	
産業 廃棄物		①産業廃棄物管理票（マニフェスト）をもとに廃棄物の適正な処理を行う。	/	○	○	
		②現場等で発生した廃棄物を分別し適正処理を行う。	/	○	○	
	③在庫管理の徹底により、不良在庫を減らす。	/	○	○		
節水・排水	用水・ 排水	①節水の表示を行う。	○	○	/	
		②蛇口・排水管の水漏れがないか確認する。	○	○	/	
		③水道を流しながら使用しない。	○	○	○	
		④トイレ用水の節水に努める。	○	○	○	
その他	施設・ 設備	①事務所、及び管理施設周辺の整理整頓に心がける。	○	△	△	現場で使用する機材の管理ができていない
グリーン購入	①消耗品、事務用品はエコ商品を優先し購入する。	○	○	/		
	②省エネ基準適合商品を購入する。	○	○	/		
社員教育	①環境関連セミナーに積極的に参加し意識を高める。	○	○	/		
	②朝礼、夕礼の場において社員に周知理解を高める。	×	△	△	エコ活動についての報告はほとんどなく、朝礼等を行っていない部署がほとんど	
地域貢献	①地域のボランティア活動に積極的に参加する。	○	/	/		
	②現場周辺の清掃活動を行う。	○	/	/		

○：評価できる △：まずまず評価できる ×：評価できない

## 7 環境目標の実績

当社では、環境目標の達成状況の確認・評価を行いました。

今回は、エコアクション21を開始した平成24年度の数値を基準に平成27年度の実績についての比較を元に、評価結果を報告いたします。

表4 当該年度の環境目標の達成状況等

項目	単位	基準年	当該年度		環境目標の達成状況	
		実績値(前年度)	削減(増加)率(%)	目標値		実績値
1、電力の二酸化炭素	kg-CO <sub>2</sub>	107,765	3%削減	104,532	117,944	×
2、LPGの二酸化炭素		186	3%削減	180	348	×
3、ガソリンの二酸化炭素		118,132	3%削減	114,588	117,999	×
4、灯油の二酸化炭素		18,258	3%削減	17,710	22,842	×
5、軽油の二酸化炭素		440,729	3%削減	427,507	467,410	×
6、二酸化炭素合計		685,070	3%削減	664,518	726,542	×
7、一般廃棄物	kg	37,110	3%削減	35,997	12,639	○
8、産業廃棄物	kg	799,000	3%削減	789,020	1,022,93	×
9、総排水量(節水)	m <sup>3</sup>	5445.4	3%削減	5,379	6,796	×
10、グリーン購入	グリーン製品を積極的に購入する。					
11、環境配慮製品の販売	環境にやさしい設備機器を積極的に採用する。					
12、社員教育	回	2回		3回	2回	×
13、その他(地域貢献)	回	2回		2回	2回	○

### 環境活動の状況

\*地域貢献活動\* 平成27年8月1日 会社周辺のごみ拾い (松園町、星が丘、天下田地域)



\*環境教育\* テーマ：地球環境の現状を知る/安全教育 (ヒヤリハット教育)



\*献血活動\* 平成27年10月17日 全社員対象にした献血活動

\*避難訓練\* 平成27年8月1日



## ～汚泥処理施設における環境活動～

### 汚泥リサイクルセンター 地域住民の方の視察

実施日平成27年1月27日 汚泥リサイクルセンター



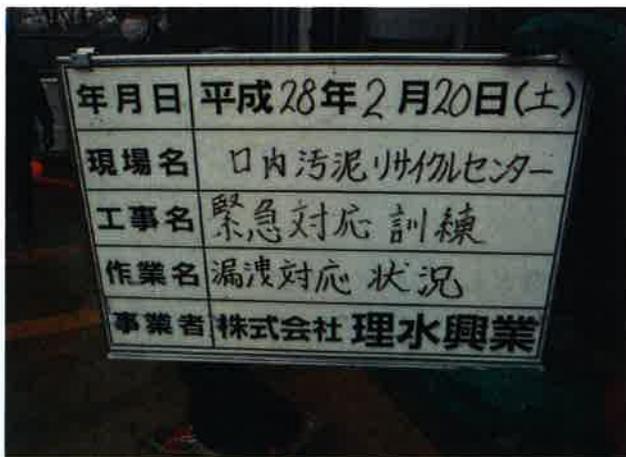
処理施設（汚泥リサイクルセンター）がある、北上市口内町の住民代表の方達を対象とする施設説明会を開催いたしました。平成28年度に、排水施設の設備工事の説明及び改めて汚泥処理における排水のしくみを現地にて説明いたしました。



### 緊急事態対応訓練の様子

実施日平成27年2月20日

汚泥の処理過程において考えられる漏洩があった場合に備えて、緊急対応訓練を行いました。



## 8 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度以降の取組内容

### 1. 取組結果の評価

表5 主な環境活動計画の内容と取組結果

項目		実施状況の評価	達成度
二酸化炭素排出量の抑制	照明	照明機器のLDEへの切り替えは前年度に切り替えたので、今年度は現状維持に至った。事務所の電気の切り替えは行われていた。	○
	冷暖房	社内の設定温度を徹底し、服装や他の対策（ウォームビズ、クールビズ）を個々に実施する。	△
	節電	無人の部屋や必要のない場所の消灯、また、部屋の使用時も無駄な点灯をなくす様に心がける。	△
	車輛その他	個々のエコドライブを呼びかけていたが、現場の方はまだ個々の意識は低い。	×
廃棄物の排出抑制	一般廃棄物	ゴミを排出しない様に心がけた（エコボトルや弁当持参、ハンカチ使用など）	○
	産業廃棄物	委託業務の受注件数に伴い、排出量は比例していくため、大幅な減量には至らなかった。	△
	受託産業廃棄物	排出事業者への、最終処分からリサイクル処理への切り替えを可能な範囲で勧めていく。（新規契約者に限る）	○
	建設副産物	現場内での分別を徹底していく。	○
節水・排水	用水・排水	業務が多忙だったため、排水量としては削減に至らなかったが、個々に使用する節水の意識は高い。	○
その他の取組	施設・設備	特に問題はなかった。	○
グリーン購入		積極的にエコ商品の切り替えに努める。	○
地域貢献		地域貢献活動は8月に計画	○

○：評価できる、△：まずは評価できる、×：評価できない

### 2. 次年度の取組内容

#### (1) 二酸化炭素排出量の削減

現場での車両の稼働率が高くなるにつれて、燃料費もふえていくので個々のエコドライブへの意識を高めていくために、来年度は講習を予定している。

#### (2) 廃棄物の排出削減

今年度は社員が一番心がけている、ごみの分別（一般廃棄物）への取り組みが結果として表れたので今後も継続していく。産業廃棄物については、できるだけリサイクルで処理ができるように処分方法を考慮していく。

#### (3) 節水（排水対策）

業務に伴い、排水量が大幅に増えてしまうので、他に削減できる部分での節水をもっと心がける

#### (4) グリーン購入

現在できる限りのエコ商品への切り替えはできているので、今後も継続していく。

#### (5) 地域貢献に関する取組

例年通りの活動となったが、今後は新しい取組も視野に地域貢献の幅を増やしていく。

#### (6) その他の取組

## 9 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法において、遵守状況を確認いたしました。違反はありませんでした。また、過去3年においても関係当局からの違反等の指摘、訴訟はありませんでしたが、業務において住民からの指摘、苦情があった件については相手方への謝罪と共に、改善と見直しにおいて指示を行いました。

### 10 代表者による全体評価と見直しの結果

見直し項目	評価	改善及び指示
1 環境方針	会社全体がエコアクション21への取り組みが定着してきた。今後は細かい面の改善を含め、会社全体がどういった目的で、この取り組みを行っているのかを明確にしていく必要がある。	本来の、環境問題とはなにか。また、エコアクションへの取り組みをすることで、どのような結果を生むかを、社員ひとりひとりが理解した上で活動に取り組んでいく。
2 環境目標	事務所内での節水や節電の呼びかけはできていたが、実際に現場での取り組みの成果がでていない。業務の受注に伴って二酸化炭素排出量も上がってしまう点は、致方ない結果となった。	どの社員でも、自分の取り組みが結果としてわかるように、見える化を図る。当社としては保有車両が多く、現場の者が一番に取り組めるエコドライブへの取り組みを強化していく。
3 環境活動計画及び環境経営システム	経営システムが、はっきりと全社員に伝わっておらず、取り組みが一部の社員にかたよってしまった結果となった。	環境管理委員の呼びかけを強化。「見える化」にもっと力をいれ、誰もが目標と結果がわかるように、工夫をしていく。
4 全体評価	3年目に入り初年度に比べ、取り組みが日常化していい結果として見られている面もあるが、まだまだ意識の低さが感じられる。部署や、携わる分野によって無関心と思える様な取組内容も実際にはあるため、会社全体が一丸となって環境への取り組みができるような体制を作っていく。	

1 1 廃棄物処理業に関する情報公開

事業所名	株式会社 理水興業						
代表者名	今野 秀實						
所在地	〒025-0065 岩手県花巻市星が丘二丁目16-12						
環境管理責任者	高橋 満						
エコアクション2.1担当者	主演 睦						
連絡先	電話	0198-23-5395	ファクス 0198-23-6078				
	E-mail	risui.top9@dance.ocn.ne.jp					
	URL	http://www.risui-kogyo.co.jp/pc/index.html					
事業活動の内容	1. メンテナンス部門 汚水処理施設(浄化槽含)の維持管理、清掃 2. 環境事業部門 (1) 産業廃棄物(特別管理産業廃棄物含)の収集・運搬(積替保管含む)、 中間処理(汚泥)・処理 (2) 一般廃棄物収集運搬業 (3) 貯水槽・油タンク等の清掃・管理、各種配管の洗浄・更生 3. 工事事務 (1) 管工事 給排水・衛生・空調・消防設備・浄化槽等の設計・施工 (2) 土木工事 水道本管・舗装・下水関連等 (3) その他の工事 電気工事等 4. ペットサロン部門 ・動物の小売り及び卸売り並びにそれらを目的とした繁殖または輸出入を行う業 (その取り次ぎまたは代理を含む) ・保管を目的に顧客の動物を預かる業						
事業計画の概要	当社の関係事業を通じて、資源循環型社会構築を目的とし、低炭素社会構築に貢献する。						
事業の範囲	岩手県内一円						
事業の規模	事業年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度			
	売上高(千円)	1,471,904千円	1,378,869千円	1,242,639千円			
	産廃収集運搬量	6083.34t	18031.21t	20210.34t			
	一般収集運搬量	4030.00t	4127.40t	3819.01t			
	処分量	1928.03t	1356.57t	3315.32t			
	従業員(名)	62名	63名	66名			
法人設立年月日	平成47年9月5日	資本金	40	百万円			
許可の内容	許可名	許可番号	事業区分、廃棄物の種類				
		許可有効期限					
	基準適合産業廃棄物処理業者	許可 有効	2014-010号 H27.6.26~H30.6.25	産業廃棄物処理業/収集運搬業(積替保管あり) 処分量(中間処理) 特別管理産業廃棄物処理業/収集運搬業(積替保管あり)			
	一般廃棄物処理業	許可 有効	花巻市(第200-15) H28.4.1~H30.3.31	事業系ごみ・家庭系ごみ・浄化槽汚泥の収集運搬			
	一般廃棄物処理業	許可 有効	北上市(第422号積降し) H27.5.1~H29.4.30	一般廃棄物の収集運搬業			
	建築物飲料水貯水槽清掃業	許可 有効	岩手県53二十三貯第2号 H23.9.1~H29.8.31	建築物飲料水貯水槽業			
	建築物排水清掃業	許可 有効	岩手県53二十六排第1号 H26.12.16~H32.12.15	建築排水管清掃業			
	地下タンク等点検業	許可 有効	地(6)第03005号 H26.6.1~H31.5.31	地下タンク			
設備	設備名	能力・産廃の種類	台数	設備名	能力・産廃の種類	台数	
	汚泥リサイクルセンター	横軸遠心分離脱水機		1台	4tユニック車	2,850kg	1台
		処理能力: 40m <sup>3</sup> /日			塵芥車	4,500kg	1台
		造粒固化施設			塵芥車	2,400kg	1台
		処理能力: 100t/日			塵芥車	2,500kg	1台
		排水処理施設			冷蔵冷凍車	2,000kg	1台
		バックホー 0.45m <sup>3</sup>	1台		バン	1,500kg	1台
		ホイローダー 1.2m <sup>3</sup>	1台		脱着装置付コンテナ専用車	3,850kg	1台
		ホークリフト 1.5t	1台		脱着装置付コンテナ専用車	7,300kg	1台
				脱着装置付コンテナ専用車	7,900kg	1台	
	積替施設面積&保管上限			面積	84.68m <sup>2</sup>	保管量	35.7m <sup>3</sup>
	保有車輛一覧				脱着装置付コンテナ専用車	3,950kg	1台
	マグナス汚泥吸引車	7,250kg	1台	7tトラック	7,700kg	1台	
	Sモバイル汚泥吸引車	9,400kg	1台	洗浄車	450kg	1台	
	モバイル汚泥吸引車	8,200kg	1台	洗浄車	2,500kg	1台	
タンクローリー	10,040kg	1台	工作車	2,000kg	1台		
タンクローリー	11,160kg	1台	貯水車	1,000kg	1台		
7tユニック車	6,900kg	1台	トリータ固液分離車	36m <sup>3</sup> /日(4.5m <sup>3</sup> /時間)	1台		
4tユニック車	3,000kg	1台	カーネイション袋脱水車		1台		



### 13 受託した産業廃棄物の収集運搬処理量

平成27年度

処理方法等	廃棄物等種類	平成25年度処理量 t	平成26年度処理量 t	平成27年度処理量 t
収集運搬	燃え殻	2.21	5.3	3.56
	汚泥	4309.12	8786.87	11430.21
	廃油	798.36	694.48	6866.91
	廃酸	17.94	13.93	9.83
	廃アルカリ	145.26	71.22	55.22
	廃プラスチック	253.71	330.49	553.35
	紙くず	0	0	1.73
	木くず	16.25	26.95	33.37
	動物性残渣	100.38	6540.16	55.58
	ゴムくず	0	0	0
	金属くず	10.55	565	48.42
	ガラス陶磁器	48.56	72.8	33.31
	がれき類	64.21	12.19	54.85
	廃油（特管）	104.1	301.12	930.64
	廃アルカリ（特管）	1.82	3.61	4.41
	感染性	58.86	113.05	103.77
	廃石綿等	0	470.02	0.05
	汚泥（特管・有害）	13.99	18.43	13.81
	廃油（特管・有害）	0.66	2.24	1.78
	廃酸（特管・有害）	0.02	0	0.01
	廃アルカリ（特管・有害）	1.62	1.65	0.2
	強酸（有害）	0.4	0	0
	強酸	0.24	0	0
平成26年収集運搬量合計				
中間処理	汚泥	脱水、造粒固化		7179.37
中間処理合計				
再資源化	汚泥			3315.32

#### 【汚泥リサイクルセンターにおける環境への負荷の実績】

		単位	H25年	H26年	H27年
① 総エネルギー投入量	購入電力	MJ	1162152	1200430	1298071
	化石燃料	MJ	703102	486849	516967
	新エネルギー	MJ			
	LPG	MJ	21	11	0
② 総物質投入量	資源投入量	t			
	循環資源投入量	t			
② 水資源投入量	上水	m <sup>3</sup>	133	112	248
	工業用水	m <sup>3</sup>			
	地下水	m <sup>3</sup>			
【③ 温室効果ガス排出量】	【二酸化炭素】購入電力	Kg-CO <sub>2</sub>	70935	73271	79231
	【二酸化炭素】化石燃料	Kg-CO <sub>2</sub>	7882	8149	16549
【⑤ 総排水量】	公共用水域	m <sup>3</sup>	4700.4	4987.8	5892.5

産業廃棄物の処理工程(平成27年4月～平成28年3月)

